

キハダ 大西洋

Yellowfin Tuna, *Thunnus albacares*



管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

最近一年間の動き

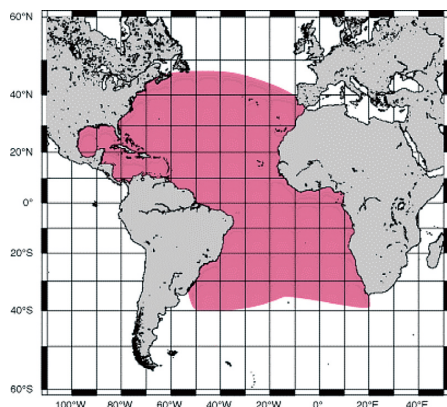
2011 年の総漁獲量は 10.0 万トン（予備集計）で前年の 93% であった。資源評価は 2011 年 9 月に行われ、MSY は 14.5 (11.4 ~ 15.8) 万トンと推定され、2010 年当初の資源量は MSY レベルより小さい ($B_{2010}/B_{MSY}=0.85$ (0.61 ~ 1.12)) と見られる。資源評価時の最近年（2010 年）の漁獲圧は、MSY レベルより小さい ($F_{2010}/F_{MSY}=0.87$ (0.68 ~ 1.40)) と推定された。資源管理措置は、将来にわたる持続的利用を確実にするため引き続き TAC (11 万トン) が設定されている。また、メバチ・キハダの幼魚が多く生育するギニア湾における FADs を利用するまき網の禁漁期、禁漁区域の拡大や、大型漁船の厳密な隻数規制の導入が決定された。

生物学的特性

- 寿命：7 ~ 10 歳
- 成熟開始年齢：3 歳
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温 24℃ 以上の海域
- 索餌期・索餌場：分布域に等しい
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海産哺乳類

利用・用途

刺身、すし、缶詰など



大西洋におけるキハダの分布域

漁業の特徴

主な漁業国はフランス、スペイン、ガーナである。日本は、はえ縄でメバチを漁獲している。フランスとスペインはまき網、ガーナは竿釣りが主体である。1980 年頃から、漁獲はまき網が主体となっている。漁場は熱帯域を中心に広く分布し、まき網と竿釣りではギニア湾が主漁場である。漁業は周年行われている。

漁業資源の動向

大西洋におけるキハダの漁業は 1950 年頃に始まり、1955 年頃からは竿釣り及びはえ縄が開始した。当初ははえ縄が主体であったが、60 年代後半以降まき網による漁獲量が増加した。最近年は、全漁獲量のうち 70% がまき網、11% が竿釣り（大部分が東部大西洋）、16% がはえ縄で漁獲されている（図 1）。1980 年以降、漁獲量は 10 ~ 19 万トンの間で変動し、2011 年は 10.0 万トン（予備集計）であった。

資源状態

最近の資源評価は 2011 年に行われた。MSY は ASPIC (プロダクションモデル) で 14.0 万トン (11.4 ~ 15.0 万トン)、VPA (年齢別モデル) で 14.9 万トン (14.0 ~ 15.8 万トン) と推定され、資源評価時の最新年 (2010 年) の漁獲量 10.8 万トンを上回った。2010 年当初の資源量は MSY レベルより小さい ($B_{2010}/B_{MSY}=0.85$ (0.61 ~ 1.12)) と見られる。最近年 (2010 年) の漁獲圧は、MSY レベルより小さい ($F_{2010}/F_{MSY}=0.87$ (0.68 ~ 1.40)) と推定された。前回 (2006 年) の資源評価より悲観的な資源状態である。努力量の増加は、資源量を減らす危険性があり、キハダとともに漁獲される種（特にメバチ）に悪影響を与える懸念がある。

管理方策

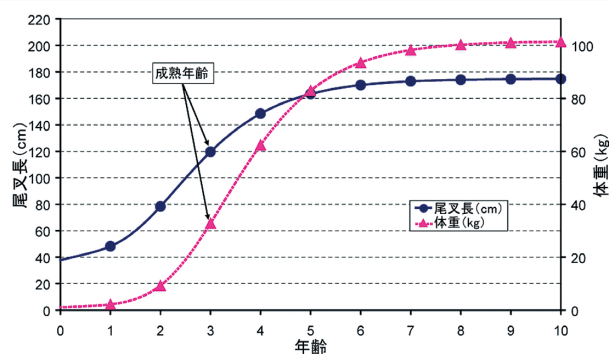
本資源の管理は ICCAT により行われている。現在、キハダのみを対象にしている有効な資源管理方策は「有効漁獲努力量は 1992 年レベルを超えない」及び TAC (11 万トン) である。また、メバチ・キハダの幼魚が多く生育するギニア湾における FADs を利用するまき網の禁漁期、禁漁区域の拡大や、大型漁船の厳密な隻数規制の導入が決定された。

資源評価まとめ

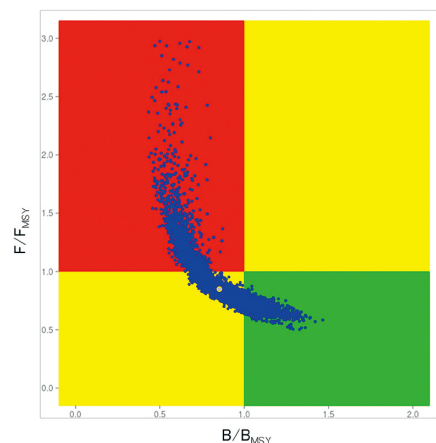
- 資源評価は ICCAT が実施
- ASPIC と VPA で資源評価を行った
- 資源は乱獲状態にあるものの、漁獲圧は高くはない

資源管理方策まとめ

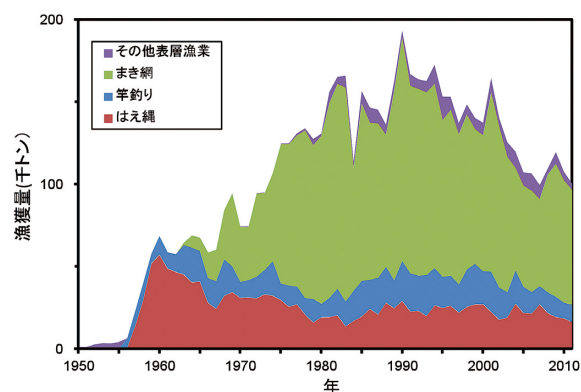
- 有効漁獲努力量は 1992 年レベルを超えないようにする（1993 年勧告）
- TAC（11 万トン）の設定
- 小型魚の保護（浮き魚礁を利用するまき網の禁漁期、禁漁区域の拡大、大型漁船の厳密な隻数規制）



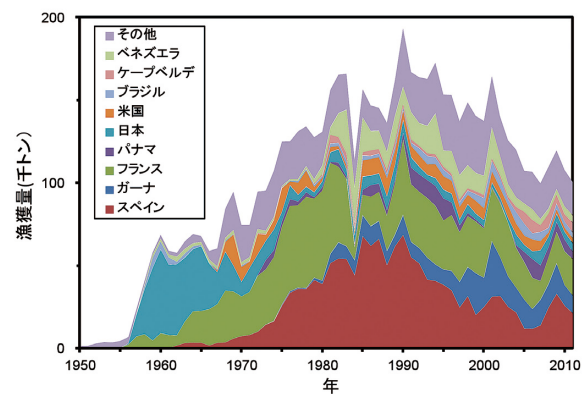
大西洋キハダの成長



プロダクションモデル及び年齢別モデルで推定した本資源の資源量と F の MSY を与える値との比



大西洋におけるキハダの漁法別漁獲量の変遷



大西洋におけるキハダの国別漁獲量の変遷

キハダ（大西洋）の資源の現況（要約表）

資源水準	中 位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量 （最近 5 年間）	10.0 ～ 12.0 万トン 平均：10.7 万トン （2007 ～ 2011 年）
我が国の漁獲量 （最近 5 年間）	0.5 ～ 0.9 万トン 平均：0.6 万トン （2007 ～ 2011 年）